

ユードムチャレンジカップ 茨城県大会 小学生プログラミング大会

2024
全国選抜

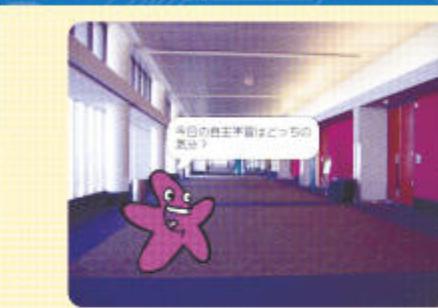
特別賞

楽しくタイピング

行方市立玉造小学校
5年 井川裕麻
岡田拓登

プレゼン審査への意気込み いろんな人がよりタイピングを楽しめるように工夫してみました。作品の良さが伝わる

Let's Study! 未来の自主学習ツール

こくは国際大学東園小学校
6年 小林瑞季

プレゼン審査への意気込み この作品は、夏休みに勉強を楽しんでやる方法はないだろうかと思い、考えたものです。楽しく学びたい熱意が伝わるように!

ダッシュときらきら星をひこう

茨城大学教育学部附属小学校
1年 穴山 桜子

プレゼン審査への意気込み Dashと一緒に演奏の練習をしました。Dashのダンスや演出などござりました。パフォーマンスの方を楽しんでください。

10年後のHITACHI CITY
案内シミュレーション日立市立大沼小学校
5年 相澤 光弥

プレゼン審査への意気込み この作品は、未来の日立市がどうあつたらしいという想いを乗せて作った作品なので、その想いが伝わるようにプレゼン頑張ります!

U-DOM
ITと人間力で社会に貢献する。



Q ユードムってどんな会社?

A 1976年の創業以来、社会インフラ領域を中心としたシステム開発に従事して参りました。

業務の一例を紹介します▶

茨城でITを相談するならユードムへ

株式会社 ユードム

本 社：茨城県水戸市城南1-5-11 TEL 029-227-3061
土浦支社：茨城県土浦市港町2-2-12 TEL 029-825-2720
東京本社：東京都千代田区富士見2-7-2ステージビルディング5F TEL 03-5226-8825

健康経営優良法人
Health and productivity
地域未来牽引企業
<https://www.udom.co.jp/>

Finalステージ あす開催!

2024年12月14日土 場所 水戸市民会館
ユードムホール

13:00～お気軽にお越しください♪

県内小学生のプログラミング作品を競う「ユードムチャレンジカップ全国選抜小学生プログラミング大会茨城県大会」の最終審査となる作品発表会が14日、水戸市県町の水戸市民会館ユードムホールで開かれます。特別賞作品は、制作した児童がそれぞれプレゼンテーションを行い、来年3月に東京都内で行われる全国大会の出場作品1点を選びます。優秀賞作品はユードムホールのホワイエでパネル展示します。

会場には、応募数35点の中から1次審査で選出された特別賞7点、優秀賞13点が勢ぞろいで

す。特別賞作品は、制作した児童がそれぞれプレゼンテーションを行い、来年3月に東京都内で行われる全国大会の出場作品1点を選びます。優秀賞作品はユードムホールのホワイエでパネル展示します。

大会前に、特別賞と優秀賞作品の計20点とみんなの見らい賞を紹介します。

優秀賞

結城紬～みらいの君たちへ～

結城市立結城川小学校
6年 グエン キュウ ヴィ
塙原 桃花
直井 瑞香

ポイ捨てをなくそう

日立市立助川小学校
5年 高田 薫也

宇宙ゴミで地球温暖化を食い止めろ!

日立市立油樺子小学校
6年 岡野 晴一

作品紹介

作品紹介

作品紹介

もちつきゲーム

日立市立会瀬小学校
6年 平野 こはる

AI Armageddon Humanity's Final Hour

リリーハール小学校
6年 近藤 桂龍
鈴木 志音

未来のまちづくり

守谷市立扇野小学校
6年 國崎 隆菜

作品紹介

作品紹介

作品紹介

みんなが気持ちはく暮らせる未来

ひたちなか市立毛寺小学校
5年 井口 茜

夢を生むリサイクル

日立市立泡瀬子小学校
5年 水越 太青

ごみを分別して世界を変えよう!

日立市立会瀬小学校
6年 村山 翔哉
鈴木 銀生

作品紹介

作品紹介

作品紹介

xincho! 茨城からベトナムへの冒険

水戸市立緑岡小学校
4年 郡司 寿幸

スペースデブリを無くそう

高崎学園つくば市立基綱第一小学校
6年 宮崎 琴美
筑摩学園つくば市立野川小学校
6年 板坂 雅香

審査員特別賞

Jリーグ教習会コニーム日
Jリーグ教習会コニーム日

作品紹介

作品紹介

作品紹介

スカイラグボール

水戸市立千波小学校
4年 伸田 柳叶
3年 伸田 俊哉
3年 田中 基順

第一回環境会議

茨城大学教育学部附属小学校
6年 福井 智久

水戸市立下大野小学校

Jリーグ教習会コニーム日

作品紹介

作品紹介

作品紹介

茨城新聞社
代表取締役社長
沼田 安広

第5回大会に作品を応募していただいた児童の皆さん、ありがとうございました。そして1次審査で特別賞、優秀賞を受賞された皆さん、おめでとうございます。今回も発想豊かな表現に工夫を凝らした多彩な作品ばかりです。最終審査でプレゼンテーションをする皆さん、全国大会出場を目指して頑張ってください。

戦争や人道危機、地球温暖化による自然災害の頻発、激甚化、人口減少など国内外に課題が山積しています。課題解決能力が求められる中、論理的思考力を育むプログラミング教育は重要であり、本大会がその一助となれば幸いです。

結びに株式会社ユードム、国立大学法人茨城大学、公益財団法人げんぐんふれあい茨城財団、NPO法人ひと・まちねっとわーく、茨城県、茨城県教育委員会等関係団体のご支援に感謝申し上げます。

茨城大学
教育学部教授
毛利 靖

入賞したみなさま、受賞おめでとうございます。今回の応募では、プログラミング技能を競うだけでなく、今日の課題を一人一人が意識ももって、創造的に解決しようとしている点がとても素晴らしいです。プログラミングは正解がない、ゴールもありません。自分が得たときに喜ぶ意識も大切です。あさりなければ無限に良くなっていくものです。今回、入賞できなかったみなさんもあきらめる必要はありません。あなたの作品もとても素晴らしいです。これからも、あなたがあきらめなければ、きっとすごい作品ができるでしょう。あなたの可能性は無限です。自分の可能性を信じて、家族や社会、地球を良くするプログラミングを作ってください。応援しています。

株式会社ユードム
代表取締役社長
森 淳一

ユードムチャレンジカップは第5回を迎えることができました。今年も限られた時間の中で精一杯の頑張りが感じられる多彩な作品ばかりでした。応募された全ての皆さんのがんばりました。テーマを決めたときから、まちづくりで楽しそうだな、すごく素敵なんだろうな、と、ワクワクした気持ちでいっぱいでした。見てくれた人が、自分たちの住むまちの未来を楽しみに出来たらいなと思います。

激しく変化し予測が難しく、常にその対応が求められる社会で活躍するために、プログラミングを通して身に付けるべき論理的思考力や創造力、問題解決能力の向上が必要不可欠です。このユードムチャレンジカップを通して県内の子供たちがその力を引き出すきっかけとなり、参加した全ての皆さんが将来、IT分野のみならず多方面で活躍される事を願っております。

主 催 茨城新聞社、全国新聞社事業協議会
特 別 賛 助 株式会社ユードム、国立大学法人茨城大学
後 援 文部科学省、経済産業省、デジタル庁、茨城県、茨城県教育委員会
協 賛 (公財)げんぐんふれあい茨城財団、NPO法人ひと・まちねっとわーく
共 同 目 的 事業・助成事業 SARTRAS
本大会は、一般社団法人授業目的公衆送信料償金等管理協会(SARTRAS)の共通目的基金の助成を受け実施されています。
<https://sartras.or.jp/>



Q ユードムってどんな会社?

A 1976年の創業以来、社会インフラ領域を中心としたシステム開発に従事して参りました。

業務の一例を紹介します▶

特定非営利活動法人 ひと・まちねっとわーく

私たち、ひと・まちねっとわーくでは、思いやりのある社会をめざして生涯学習・社会教育活動を支援します

